

## 第3節

## インバウンド対応

訪日外国人旅行者数 2,000 万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代の新たな目標の設定とそのために必要な対応の検討を行うため、平成 27 年 11 月 9 日に「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」を政府内に設置し、次の時代の新たな目標と、そのために必要な対応の検討を行った。有識者・関係府省庁等による精力的な議論を経て、2020 年に訪日外国人 4,000 万人及び同消費額 8 兆円などの新たな政府目標や今後政府が取り組む施策について「明日の日本を支える観光ビジョン」が平成 28 年 3 月に取りまとめられた（第Ⅲ-5-3-1 図）。

「観光ビジョン」においては、「観光は、真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である」との認識の下、鍵となる以下の「3つの視点」を整理し、それに従っ

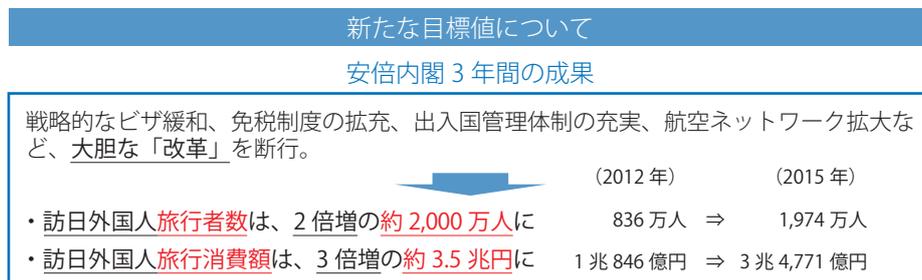
て、35 項目の施策を打ち出し、関係省庁が連携しながら取り組んでいる。

## 「3つの視点」

- 視点 1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に
- 視点 2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に
- 視点 3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

官民が連携して観光施策に取り組むことで、2016 年の訪日外国人数は 2,403 万 9,000 人（対前年比 21.8% 増（推計値））、訪日外国人旅行消費額は 3 兆 7,476 億円（対前年比 7.8% 増）となり、統計開始以来、過去最多となった。

第Ⅲ-5-3-1 図 観光における新たな目標値



## 新たな目標への挑戦！

訪日外国人旅行者数	2020 年： <u>4,000 万人</u> <small>(2015 年の約 2 倍)</small>	2030 年： <u>6,000 万人</u> <small>(2015 年の約 3 倍)</small>
訪日外国人旅行消費額	2020 年： <u>8 兆円</u> <small>(2015 年の 2 倍超)</small>	2030 年： <u>15 兆円</u> <small>(2015 年の 4 倍超)</small>
地方部での外国人延べ宿泊者数	2020 年： <u>7,000 万人泊</u> <small>(2015 年の 3 倍弱)</small>	2030 年： <u>1 億 3,000 万人泊</u> <small>(2015 年の 5 倍超)</small>
外国人リピーター数	2020 年： <u>2400 万人</u> <small>(2015 年の約 2 倍)</small>	2030 年： <u>3,600 万人</u> <small>(2015 年の約 3 倍)</small>
日本人国内旅行消費額	2020 年： <u>21 兆円</u> <small>(最近 5 年間の平均から約 5%増)</small>	2030 年： <u>22 兆円</u> <small>(最近 5 年間の平均から約 10%増)</small>

資料：「第 2 回明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（平成 28 年 3 月 30 日）」から引用。